

長崎県立大学佐世保校生協 健康フェスタ

第43号
(通算628号)



[健康と安全]

取り組み概要

日時：2025年12月8.9日
場所：長崎県立大学佐世保校 2号館
参加者数：計128人

背景や概要：

- 学生委員会の共済チームが中心となって、
- 自分自身の健康状態を知り、病気に負けない体
- づくりをしてもらうことを目的に、
- 地域連携やスタンプラリーなどの工夫を取り入
- れた「健康フェスタ」を実施しました。

POINT.1

地域の人との協力で普段できない体験を！



今回の「健康フェスタ」は、組合員が自分自身の健康状態を知り、病気に負けない体づくりをしてもらうことを目的に実施されました。当日は、アルコールパッチテストや握力測定、泥酔ゴーグルなど、気軽に挑戦できる健康チェックのブースが並び、多くの学生が楽しみながら自身の健康状態を知ることができた場となりました。

また、大学周辺のお店に協力していただき、**肌質チェック**や**整体体験**といった、普段なかなか体験できないブースも登場しました。体験を通して、さまざまな視点から自分自身の健康状態を知ること、健康について幅広く考えるきっかけづくりとなりました。**地域の方と一緒に**つくすることで、より身近で親しみやすい企画となりました。

POINT.2

スタンプラリー形式で参加しやすく！

本企画は**スタンプラリー形式**で行われ、参加者がすべてのブースを回りたいくなる工夫がされていました。全ブースを回ってスタンプを集めると、参加賞として豆乳がもらえるほか、握力測定やベジチェックでは上位3名に景品を用意しました。結果が気になって友達同士で声を掛け合う場面も見られ、会場は終始にぎやかな雰囲気となっていました。楽しみながら自然とブースを巡ることで、健康チェックへのハードルが下がり、**気軽に参加**できる企画となりました。



POINT.3

手作りの看板や共済ボードで伝える健康と共済！



各ブースには、**手書きの看板や健康器具の説明**が用意されており、初めての人でも安心して参加しやすい工夫がされていました。数値が低かった人に対しての**改善策**もあわせて伝えられており、日常の行動につなげやすい内容となっていました。

さらに、会場入り口には**共済ボード**も掲示し、共済制度や給付方法などについて知ってもらう機会にもなっていました。健康への意識を高めるとともに、共済への理解を深めるきっかけとなりました。



地域の人の協力で作る健康イベント！